



「学校から見た中野方町」

中野方小学校

6年生 多賀 月咲

恵那市教育研究所
<http://www.ena-gif.ed.jp/>

恵那市長島町正家一丁目1番地1 恵那市役所西庁舎4階
TEL(0573)26-6850 FAX(0573)26-2155

一人一人を大切にすることを目指して

東濃教育事務所長 星野 健



私ごとですが、12年前の東濃教育事務所勤務時は、恵那市に2年間家族で住んでいました。今回は単身赴任となりましたが、あれから随分お店が増えて便利になったと感じると同時に、「変わらない」という心安らぐ雰囲気に懐かしさを感じています。東濃のよさは、この変わらない地域性にあり、まさに地域で子供たちを育てているところです。少子化により子供の数は減少してきていますが、だからこそ目の前の子供たち一人一人を大切にしたいと思います。

本年度、東濃教育事務所では「人間尊重の気風がみなぎる東濃の教育を推進する」を方針として、市教育委員会と連携を図りながら、東濃の宝である全ての子供の主体的な学びと成長を支える教育の推進を目指します。そのための3つの取組について以下に示します。

本年度、東濃教育事務所では「人間尊重の気風がみなぎる東濃の教育を推進する」を方針として、市教育委員会と連携を図りながら、東濃の宝である全ての子供の主体的な学びと成長を支える教育の推進を目指します。そのための3つの取組について以下に示します。

■全ての子供が安心して学ぶための支援の充実

令和4年度の問題行動調査の結果によれば、全国の不登校児童生徒数は、29万9千人を超え、岐阜県においては5,255人と過去最高となりました。東濃地区においても小中学校の不登校者数は年々増加傾向にあります。このような状況を踏まえ、学びの多様なニーズに応える環境を整備するとともに、「SOSの出し方教育」等を実施し、児童生徒が安心して学ぶための支援の充実を図る必要があります。

加えて、上矢作中学校での「いのちの授業」の実施、恵那東中学校での「学級経営」の取組等を通して、生命尊重や温かな人間関係を醸成するといった実践を進めていただき、管内へ啓発していきたいと考えています。

■「主体的・対話的で深い学び」の実現

1人1台端末の導入により、子供たちの学びは教師と児童生徒がFace to Faceで行うスタイルから、児童生徒が互いにつながるSide by Sideのスタイルに変わろうとしています。つまり、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が並走する授業が求められています。しかし、学びのスタイルや道具は変わっても、授業で児童生徒に力を付けることには変わりありません。指導と評価の一体化は、日常的な授業改善に取り組むことであり、子供が「先生は分かるまで教えてくれる」と感じながら、「できた・分かった」と学習内容を理解し、知識・技能を定着させ、それを活用して「主体的・対話的で深い学び」を行っていくことができるようにしたいと考えます。

■人材育成と教職員の力が十分に発揮できる学校経営

これまでも、教職員の皆さんが力を十分に発揮することができるよう、また教職員の仕事に魅力を感じ、教職員を目指す学生が増えるように、「働き方改革」を推進してきました。東濃管内の昨年度の時間外在校等時間は、小学校で月平均33時間36分となっており前年より27分減少しました。中学校では、月平均33時間20分となっており26分減少しました。一方、限られた時間の中であっても、教師としてのスキルアップを図っていくことは欠かせません。そこで、教育事務所では、教職員の経験や役職に応じた研修の充実を図っていきます。さらに、各校においては、研修主事を中心とする職場での研修の充実をお願いしたいと考えています。

学校が子供たちにとっても、教職員にとっても「明日も来くなる場」となることを願っています。

特集



デジタル・シティズンシップ教育 ～デジタル社会における善き社会の担い手を目指して～

現在のデジタル社会において、ICT機器の利用が日常となった現在、子供たちにICT機器の自制を促す情報モラル教育では対応ができなくなってきました。こうした環境の中で、近年注目されているのが、デジタル社会における「善き社会の担い手」を目指すデジタル・シティズンシップ教育です。

恵那市教育委員会では、『恵那市立小中学校ICT活用推進方針』にも、デジタル・シティズンシップ教育を位置付けており、5月には教頭先生を対象とした研修会を行いました。今回は、「デジタル・シティズンシップ教育とは何か」を理解していただけるよう、Q&A形式で紹介します。

Q どんな教育ですか？

- A. デジタル社会をよりよく生きるために必要な能力を育てる教育です。デジタル技術が人間や社会にもたらす影響を知りそれに向き合い、よりよく生きる力を培うものです。その中には情報モラルに関することも含まれています。

Q なぜ必要になってきたのですか？

- A. デジタルの影響は、人々の意識や行動、社会の仕組みに至るまで社会全体に及んでいくことが予想されています。ハイテク企業やプラットフォーム企業によって知らず知らずのうちに意識や消費行動が支配され（フィルターバブルの問題等）、個人も社会もそれらの意に沿った方向に進み、民主主義をも揺るがしかねないという指摘もあります。こうした状況にあっては、情報活用能力や情報モラル教育では対応しきれず、デジタル社会における市民の育成という幅広い視野に立った教育（デジタルにフォーカスした公民教育）が必要になりました。

Q 情報モラル教育とどこが違うのですか？

- A. デジタル・シティズンシップ教育の中に情報モラル教育に関することも扱いますが、もっと広い範囲を対象とします。また、情報モラルの扱い方がこれまでの情報モラル教育と大きく異なり、「やらないこと」でなく、「やること」を意識することが大切にされています。このことは、日常生活の諸問題の解決や、主体的に深く学ぶこととも深い関わりがあります。

情報モラル教育

抑制・他律・心情規範の教育

- ・ 子供を危険から遠ざけ守る
- ・ ネット社会のデメリットを強調
- ・ 他律的なルールによる抑制
- ・ 心情面への働きかけ
思慮、思いやり、節度、礼儀

デジタル・シティズンシップ教育

活用・自律・行動規範の教育

- ・ デジタル化した社会生活全体での振る舞い（公民教育）
- ・ デジタル社会のメリットにフォーカス
- ・ 主体性や問題解決力の育成
- ・ 理性面への働きかけ
真偽判断力、自分の解釈を疑う力

Q カリキュラム開発などは進んでいるのですか？

- A. 日本国内でのデジタル・シティズンシップ教育の研究・開発は始まったばかりです。今後、開発が進んでいくと考えられています。現在は、経済産業省や、総務省が教材を開発し紹介しています。





特別活動の充実に向けて

特別活動は、学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動（小学校のみ）及び学校行事から構成され、異なる集団での活動を通して、学校生活を送る上での基盤となる力や社会で生きて働く力を育む活動です。さらに、特別活動が各教科等の学びの基盤となるという面もあります。

特別活動において育成すべき資質・能力の重要な視点

特別活動の目標は、「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」という3つの視点を手掛かりにしながら、資質・能力の三つの柱に沿って目標が整理されています。

人間関係形成………違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てます。

社会参画………よりよい集団や社会をつくろうとする力を育てます。

自己実現………なりたい自分に向けてがんばる力を育てます。

特別活動における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

特別活動の「主体的・対話的で深い学び」についても、以下のようにまとめられています。

主体的な学び

学校や学級の実態、自己の現状に即して自ら課題を見だし、解決方法を実践したり振り返ったりしながら、生活をよりよくしようとしていくこと。

対話的な学び

生活上の課題を解決するために合意形成を図ったり、意思決定したりする話し合いの中で様々な意見に触れ、考えを広げたり多面的・多角的に考えたりすること。

深い学び

「意図や社会形成者としての見方・考え方」を働かせながら、問題の発見、課題の設定から振り返りまでの一連の活動を繰り返す中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を総合的に活かし、知識・技能などを集団及び自己の問題の解決に活用していくこと。

特別活動を通して、児童生徒の成長や、よりよい集団の育成を図ることができます。その過程において、自ら課題を見だし解決する方法や内容をみんなで話し合い、集団として「合意形成」を図り協力して実践することを話し合う 学級活動（1）「学級や学校における生活づくりへの参画」を充実させることが大切です。基本となる展開を参考に実践し、児童生徒の自治力を高めていくことが大切です。

	事前の活動	解決方法等の話し合い			解決方法の決定	実践
学習活動	問題発見	話し合いの理解	出し合う	くらべ合う	まとめる(決める)	決めたことの実践
	学校生活がもっとよくなることやみんなでしたいこと、つくりたいものはないかなど課題を見つけます。	議題の内容や話し合うことを理解し、提案理由やめあてに基づいて、自分の考えを再構築します。	一人一人の思いや願いを大切にしながら、「話し合うことについての」自分の考えを発表し合います。	よりよい解決方法を見つけるために、共通点や相違点を確認したり、賛成意見や反対意見を述べたりします。	いろいろな意見の違いを認め合い、折り合いをつけるなどして、みんなの意見をまとめ合意形成を図ります。	具体的な内容や活動の工夫、その時の願い等を確認、実践への見通しをもつようにします。
指導援助	一人一人が当事者意識をもてるような工夫をする。	めあてを意識して自分の考えをもてるよう工夫をする。	発言の Kategorii を聞き分けて、整理分類をする。	提案理由やめあてを意識して話し合われているか見届け、必要に応じて問い返しや助言をする。		願いを基に振り返りを行い、次の活動への意欲につなげる。



「今日的な道德教育の在り方」について

道德教育推進教師研修会では、岐阜聖徳学園大学教授龍崎忠先生より「『うれしい道德』をつくるための授業づくりと評価」という題で講話をいただきました。紙面の関係ですべてをお伝えすることはできませんが、一部抜粋して要点とポイントを紹介します。



1 資料の分析っておもしろい

授業者としてどのようにすると当該の価値を児童生徒たちと深めていけるか、というのが授業づくりの出発点です。自分自身でも教材と（真剣に）向き合ってみて考えてみる、というわけです。教材も「広い視野から」「多面的・多角的に考え」てみるのが大切です。そうすると、どちらかと言えば、「正解」はこうだ、という授業よりは、授業者も子供たちも「納得解」をもてる授業が道德科の特徴です。

資料を読むに当たって、以下の点を確認ながら分析しましょう。

- ☐ 主人公は何らかの「変容する」者である、あるいは「変容する可能性」を示す者である
- ☐ 変容の内容、葛藤状況をつかむ（“ビフォー・アフター”あるいは“バージョンアップ”です）
- ☐ その変容する場所・きっかけ・タイミングをつかむ
- ☐ 変容を与えてくれる人（助言者）が誰かをつかむ
- ☐ 何を訴えている資料なのかをつかむ

Point!



児童生徒の実態を踏まえ、価値項目を意識しながら資料の分析をすることが大切なんだよ。

恵那市公式キャラクター「エーナ」

2 対話のある授業を～「議論する道德」のための発問づくりのヒント～

対話のある授業にする一番のコツは、「教師がしゃべりすぎない」ことです。（『道德教育』2019年12月号、和井内良樹氏の論文）和井内氏の論文にある対話型の授業をめざす「セルフチェック」の一部です。

- ☐ 子供の発言は必ずフォローするようにしている
- ☐ 子供のつづやきはあまり気にしない
- ☐ 子供は教師の方を見ながら発言する
- ☐ いつも発言する子供が決まっている
- ☐ 教材の読解中心の展開になっている
- ☐ 発問はいつも教科書の指導書どおりである
- ☐ 無反応に必要以上に反応する



「児童生徒に教える」だけでなく、「児童生徒とともに考える」という構えもあるといいよ。

Point!



恵那市公式キャラクター「エーナ」

上記の項目は、チェックが少なければ少ないほど対話的な授業が実現できていると言われます。

3 「目標」に始まり「目標」に終わる

道德科とはどんな学習か、道德科の目標に示されています。

- ・ 道德的諸価値についての理解を基に
- ・ 自己を見つめ
- ・ 物事を（中：広い視野から）多面的・多角的に考え
- ・ 自己の（中：人間としての）生き方について考えを深める

常に道德科の目標に立ち返ることを大切にする
といいんだ。

Point!



恵那市公式キャラクター「エーナ」

のが道德科の学習です。

そして、こうした4種を含みこみながら展開する道德科の学習を別言するのが「考え、議論する」道德です。

誤解しがちなのは、「考えてから議論する」という具合に、一定の順序や形式を示しているようにみえてしまう点です。そうではなくて、「考える」場面も「議論する」場面もそれぞれ大事にされていることに注目したいですね。学習指導要領でも「考える道德」「議論する道德」と別にして説明しています。つまり、両者を相互作用的に機能するものとして捉えてみるということです。そうすると、「考えて、議論しつつさらに自分自身でいっそう考えを深める」学習は、「主体的・対話的で深い学び」と見事に符合しているように見えてきます。道德科でも「主体的・対話的で深い学び」を実現できるのです。

週に1時間、年間35時間という貴重な道德の時間です。意識的な実践を行いましょう。 文責：恵那市教育研究所



心を通わせながら、豊かなかかわりが広がることを願って ～異年齢保育や地域とのかかわりを通して～

串原こども園

当園は岐阜県と愛知県の県境に位置しており、豊かな自然に囲まれた環境にあります。「木根しだれ桃園」や「オートキャンプ場」など県内外から訪れる方が多い一方で、園児数は年々減少し、今年度は1歳児から5歳児まで合わせて5名という少人数での保育となっています。

異年齢保育を継続してきましたが、急激な園児減少により、子供たちの育ちのためには地域の力がますます重要となってきています。

1. 地域とのかかわりを深める

こども園には様々な地域の方とのつながりがあります。3年前から始まった地域の方との野菜作りでは、どんな野菜を作りたいか話し合い、アドバイスを受けながら世話や収穫を楽しんでいます。

またトウモロコシやイチゴの収穫体験も、農家さんのご厚意で行っており、地域の農業に触れることができています。

串原ならではの生活体験として、夏季は地域の方が作ってくださる布ぞうりを履いて過ごしたり、地域特産品のおやつ提供・郷土食である朴葉寿司作りに取り組んだりもしています。

今年度からは地域のカフェサロンや、コロナ禍で中止していたデイサービスの方との交流も毎月行っており、地域とのかかわりが活発なものになっています。

普段はよく喋り、賑やかな子供たちですが、人前に出ると緊張し、恥ずかしくて声が小さくなる姿が見られます。そんな中でも地域の方々には子供たちの姿を温かく見守り、丸ごと受け入れてくださるので、人とのかかわり方を学ぶ大切な場となっています。

地域の方へ感謝の気持ちを伝える「ありがとうカレンダー」配りも年末の風物詩となっており「今年も届くかね？」と地域の方々から楽しみにしていただいています。

2. 友だちとのかかわりを深める

こども園では、子供たちが様々なかかわりの中でぶつかり合いや葛藤、我慢などを経験していきます。しかし少人数異年齢保育の中では「言わなくてもわかってもらえる」ということがしばしば起こりがちで、遊びを通しての経験にも限りがあるため、昨年度から小学校や近隣のこども園の力をお借りしています。

小学校とのかかわりでは、20分休みの時間を利用して集団遊びを楽しんでいます。園で共に過ごしてきた1、2年生は、園児にとって憧れであると同時に、お互いのことをわかり合いながら安心して遊べる大切な存在です。

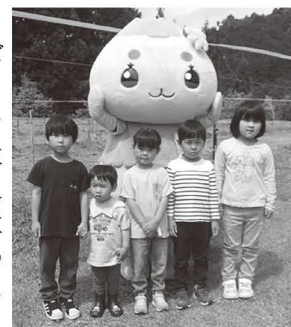
近隣の園を訪問した際は、どの園も交流を心待ちにして、温かく受け入れてくれました。

なかなか経験できない集団遊びを一緒に楽しみ、けん玉など個人で取り組む遊びにも刺激を受け「私たちもやってみたい！」と意欲が高まったことは嬉しい変化でした。

3. 豊かなかかわりが広がるために

こども園から中学校まで、仲間関係が変わりにくいことは、メリット・デメリットの両面を併せもっています。

幼児期に様々な人とのかかわりを持ち、多様な考えに触れ、経験を重ねること、また時には自己主張ができることは、後の人格形成や自己肯定感に大きな影響を及ぼすと考えています。だからこそ、意図的・計画的に様々な人とのかかわりをもつ事を大切にすると共に、保育者は人的環境である事を念頭に置き、子供たちの豊かなかかわりが広がるよう保育を展開していきます。



温故知新★ それは本当に子供がやりたかったことなんですか？

心に残る遊び・授業・先輩・職員

大井第二小学校 校長 伊藤 政之



教員になって12年目、初めて研究主任を務めた年から、ひどいスランプに悩まされていました。何度授業研をやっても、思ったようにいかない、確かな手応えがない、そんな時期が2年ほど続きました。原因が分からず、暗闇の中で一人、もがいているようでした。

そんなとき、異動した小学校でお仕えしたのがK校長でした。K校長は普段から「一人一人が大切にされる学校」、「子供が元気、先生が元気な学校」など、ご自身のお考えを明確に言葉にして発信される、思想と哲学のある方でした。

1年生の担任になった私は、5月下旬に初めてK校長に授業を見ていただきました。スランプ真っただ中だった私の授業は、K校長から縦横無尽に駄目出しを

もらいました。その中で、最も心に残った言葉は、「それ（本時の学習活動）は本当に子供がやりたかったことなんですか？」というものでした。その言葉を聞き、私は目を見開かされる思いがしました。

これまで授業を構想するとき、「子供主体で」と意識していたものの、本当にそうになっていたでしょうか。結局は、自分が授業をしやすいうに、自分の都合で考えていただけなのではないか。そう自問自答し、スランプの原因に気付く糸口を与えていただきました。

また、「『先生が教えたいこと』と『子供がやりたかったこと』をいかに上手く合致させるか。それが『教材研究』だ」ということも教えていただきました。

その小学校の教育理念は「啐啄同時」です。「子供と教師の理想的な関係性」を示すこの言葉の意味を教えていただいた経験は、私の指導観を大きく変えてくれました。



恵那市のALT (令和6年7月現在)

恵那市教育研究所

- ①勤務開始 ②趣味 ③好きな給食メニュー ④恵那市の印象 ⑤みなさんへ一言

アンドリュー  担当校 明智小 東野小 明智中 大井小	ダンロップ アンドリュー リック Dunlop Andrew Rick ①2022年4月から恵那市で勤務 3年目 ②登山、サイクリング ③クリスマス給食 ④人が優しく自然に溢れている。(でも、思ったより田舎じゃなかったです。) ⑤こんにちは。オーストラリアから来たアンドリューです。登山、サイクリング、レトロゲーム(古いゲーム)、それと80年代の音楽が好きです。去年、山下達郎のライブに行き感動しました。私の好きなスーパーはドンキホーテです。恵那にドンキがあるのは本当に良かったです。買物しながら「トドントドン トドンキー トドンキーホーテ」トドンキの歌を歌います。日本にいる間にもっと、日本語が上手になりたいと思っています。古文がスラスラ読めるくらいの日本語を目指しています。よろしくお願いします。
ライアン  担当校 恵那西中 恵那北小	ワトリング ライアン ジェイミー Whatling Ryan Jamie ①2023年8月から恵那市で勤務 2年目 ②ランニングとハイキング ③からあげ ④恵那市は自然豊かでとても綺麗です。恵那市の皆さんはとてもやさしいです。 ⑤恵那に在る間に皆さんが英語を学びたいと思えるようにしたいです。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。
マテオ  担当校 恵那北中 岩邑中 上矢作中 上矢作小	ロメロ マテオ ニコラス Romero Mateo Nikolas ①2023年8月から恵那市で勤務 2年目 ②ゲームすること、バイオリンとピアノを弾くこと、絵を描くことが好きです。 ③納豆が好きです。本当に。アメリカの給食はあまりおいしくないから、日本の給食がおいしくて嬉しいですね。 ④恵那市はとっても美しいですね。風景が素晴らしいです。そして、みんながとても優しいです。 ⑤皆さん、こんにちは。ALTは2年目です。恵那市の人々と一緒に仕事できてとても嬉しいです。私の日本語はあまり上手ではありませんが、色々な人としゃべってみたいです。よろしくお願いします。
ミラー  担当校 山岡中 三郷小 山岡小 大井第二小	ミラー ダグラス ルイス Miller Douglas Louis ①2023年8月から恵那市で勤務 2年目 ②マウンテンバイク、サッカー、小説を読むこと ③焼きそば ④とても平和で、美しい自然がいっぱい。 ⑤日本語を上達させたいので、教えてください。よろしくお願いします。
ジョセフ  担当校 城ヶ丘こども園・大井こども園 おさしま二葉こども園 やまびここども園 東野こども園・みさとこども園 武並こども園・中野方こども園 飯地こども園・岩村こども園 山岡こども園・明智こども園 串原こども園・上矢作こども園	ジョセフ セレゾ Joseph Cerezo ①2020年4月から恵那市で勤務 4年目 ②ピアノとギターを演奏すること、その他、教会音楽を聴くのも好きです。 ③好きな給食メニューは唐揚げとサラダです。 ④恵那市はとっても美しい場所です。毎日通勤で季節によって変わる景色を楽しんでいます。また、いつもフレンドリーな恵那市の皆さんのことが大好きです。 ⑤いつも私を恵那の一員のように迎え入れてくださる子どもたちや先生のこと大好きです。皆さんのおかげで、毎日が幸せで充実しています。子どもたちに英語を教えながら一緒に過ごす時間が、日々の中で最も素晴らしい時間です。いつも本当にありがとうございます！
シャーリーゲイ  担当校 城ヶ丘こども園 大井こども園 おさしま二葉こども園 やまびここども園 東野こども園・みさとこども園 武並こども園・中野方こども園 飯地こども園・岩村こども園 山岡こども園・明智こども園 串原こども園・上矢作こども園	シャーリーゲイ ガルシア Shieley Gay Garcia ①2023年5月から恵那市で勤務 2年目 ②趣味は読書と旅行です。家族や友人とカフェやレストランに行くのも好きです。そのほか、結婚式や誕生日などで司会をすることも好きです。 ③私は毎日自分でお弁当を作っていますが、日本食は大好きです。エビの天ぷら、餃子、そば、フライドチキン、たまご、フライドポテトは毎日食べられるくらい大好きです。④恵那市で働くようになり、恵那市の森や川や木々など、恵那の自然の豊かさに気付くことができました。また、恵那市のみなさんはとてもフレンドリーで親しみやすいです。 ⑤恵那市でALTとして働くようになり、こども園での生活を通して、日本の文化や慣習・伝統的な食べ物など、日本のいろいろなことを初めて知ることができました。これからもたくさん経験ができたらいなと思っています。そして何より、このような経験をさせてくださるこども園の先生方に心から感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いします！

マジックとリンジーは、令和6年7月をもって任期満了となりますので、お別れのメッセージです。

マジック  担当校 岩邑小 中野方小 飯地小 長島小 串原小中	マジック ブランドン ジョセフ Magick Brandon Joseph 令和元年度から恵那市のALTとして務めさせていただきました。恵那市の豊かで綺麗な自然と、この辺りに住んでいる人々のおかげで、私の運命が変わりました。この5年間で、恵那北中学校、恵那北小学校、飯地小学校、岩邑小学校、東野小学校、中野方小学校、串原小中学校に勤め、様々な面白い先生や児童生徒と出会い、たくさんの経験ができ、本当に幸せ者です。コロナ禍でも、皆様からいろいろなお助けをいただいたおかげで、私は地元のアメリカから遠く離れていてもあんなじゃなかったです。教育委員会の皆様へ、大変お世話になりました。そして、恵那市の皆様に、いつまでもいつまでも感謝しております。どうもありがとうございました。
リンジー  担当校 恵那東中 武並小	ランプ リンジー ニコル Lamp Lindsay Nicole 1年間、恵那東中学校、大井第二小学校、武並小学校でALTとして働きました。2019年に日本で就職できるという朗報を受け取った時、私の将来はまだ不透明でした。ALTはどんな仕事か、東濃地方はどこなところか知りませんでした。「まあ、1年か2年間で十分かも。それで、アメリカに帰ったら良いかな。」と思いました。でも、やがてその印象が変わりました。日本の美しさとか周りの人々の親切さのおかげで、ますます日本の生活に惹かれていきました。仕事も大好きになってきました。何と言っても、一生の中でこんな経験をするのは特別なことです。いつまでも自分の感謝の気持ちが続きます。今なら、将来ははっきり見える。ずっと日本に住みたいです。ここで夢を叶えて理想的な生活を作るつもりです。この機会を私にくれてありがとうございました。